

令和元年度 学校評価報告書

評価項目	評価項目 No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え
組織運営等の状況	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。	A	A	・本校の地域性・児童の実態を把握し、それに即した教育の目標を設定し、組織的に取り組んでいる。
	2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	A	A	・PDCAサイクルに基づいた経営を行っている。
	3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	A	A	・5,6年生では夢ノートの取組を行い、「夢」に向かって一歩一歩努力している児童がいる。 ・英語(外国語活動)の充実、読書、金管バンドクラブ等、特色ある学校づくりに取り組んでいる。
	4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り組織的に取り組んでいる。	A	A	・打合せ、職員会議、お話朝会などで共通理解を図っている。
	5	学校は、教職員の服務規律を確保するための取組をしている。	A	A	・倫理確立委員会の実施や打合せ、職員会議での呼びかけを行っている。 ・倫理確立委員会にて毎回振り返りを行っている。
	6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	A	A	・外国語教育充実のための研修に取り組んでいる。 ・各研修に計画的・組織的に取り組んでいる。
授業等の状況	7	学校は、学力向上を目指し、児童生徒の実態に基づき授業改善に取り組んでいる。	A	A	・学力向上委員会を立ち上げ毎月1回実施し、組織的に取り組んでいる。 ・振り返りチェック10の取組を行っている。
	8	学校は、日々の授業等を通して、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	B	A	・理解できていない児童がいないよう、気軽に質問ができる環境や机間指導の充実を図る。 ・学年で教材研究を行い、授業の質を向上させる。 ・導入7分、振り返り10分を目標に時間配分し、十分な振り返りの時間を確保している。
	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	A	A	・朝の会では授業の心得を全員で読み上げ、帰りの会では振り返りを行っている。 ・毎日学校で活用し、授業改善を図っている。
	10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。	B	A	・着座タイムの実施、2分前着席の徹底などに取り組んでいる。 ・授業規律・生徒指導の徹底をしていく必要がある。
	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。	A	A	・児童の実態を見ると、物語や長い読み物に触れる児童が少ない。長い物語を分けて読み聞かせするなどして、児童の興味関心を高めるたい。 ・貸出冊数の明示、ブックトーク、おはなしたんご、家読などに取り組んでいる。
	12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。	A	A	・読破数など掲示して、児童の意欲を高めている。 ・休み時間の図書館利用を呼びかけている。 ・司書教諭と連携し、ブックトーク等を授業に取り入れる。
	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	B	A	・完食キャンペーンや魚の骨取り指導、保健による指導を行っている。
	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。	B	A	・朝マラソンの呼びかけや周数の掲示をしている。 ・外遊びを推奨する指導の工夫が必要である。
	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育の改善に取り組むとともに道徳教育を積極的に推進している。	B	B	・道徳の学習指導充実のため、教材の保管、年1回の授業公開をしている。
	16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うとともに、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	B	A	・「チーム丹後」として、全教職員で全児童を育てる意識で教育活動にあたっている。 ・日頃の生活の中で、道徳的な判断力・心情等、実践させる努力が必要である。
指導・管理の状況	17	学校は、自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	A	A	・時間、言葉遣い、廊下歩行等、手本となるように心がけている。 ・TPOに合わせた服装、気持ちのよい挨拶、正しい姿勢などを示している。
	18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように指導している。	A	A	・積極的・継続的指導が必要である。 ・あいさつ運動やあいさつキャンペーンなどに取り組んでいる。 ・自分からあいさつができる児童が増えている。 ・校内ではあいさつしていても、校外でのあいさつが課題である。
	19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	A	A	・全体的に言える児童が増えた。 ・些細な会話でも「です・ます」に直させ、繰り返し指導している。 ・発表や目上の人と会話するときは、敬体を使うことを日常的に指導している。
	20	学校は、児童生徒の不登校・非行問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	A	A	・生徒指導部会や生徒指導・教育相談委員会等を実施し、共通理解を図っている。
	21	学校は、保護者(必要に応じて関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	B	A	・欠席児童へのごまめな連絡や外部機関との連携を行っている。 ・便りや保護者と直接会ったりしながら連携を図り指導をしている。
	22	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いのよさや努力を認め合う指導をしている。	B	A	・他クラス、他学年の児童にも積極的に声をかけ、褒めることを心がけている。 ・なかよしアンケートの実施や聞き取り、帰りの会での認め合う場の設定を行っている。

安心・安全	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	A	A	・避難訓練、ショート訓練の実施、電話機近くに緊急マニュアル掲示をしている。 ・個や集団の実態に応じたマニュアルを作成し、一枚岩で指導している。
	24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。	A	A	・月1回の安全点検や一斉下校指導、児童からの危険箇所報告の指導をしている。
環境整備	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。	A	A	・無言清掃が身についてきており、「学校を自分達できれいにしよう」という意識が出てきた。 ・外国語の掲示が多く、児童が掲示物に学ぶ姿が見られた。
	26	学校は、学習環境を整えるため、施設・設備の充実を図っている。	A	A	・破損・不足のものがあれば常に報告し、万全の状態を保っている。 ・教室の前面掲示をすっきりさせたり、休み時間ごとに机の整頓を行ったりする指導をしている。
家庭地域との連携状況	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。	A	A	・たくさんの写真による教育活動の様子の発信、クイズによる関心を向上させる工夫を行っている。 ・ホームページは、ほぼ毎日更新されている。
	28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。	A	A	・登下校の見守りや、読書ボランティアの方に協力をいただいている。 ・学校応援団の方が校内のペンキ塗りや清掃活動を行ってくださっており、パートナーシップ関係ができています。
	29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。	A	A	・丹後フェスタやクリーン作戦を実施し、連携を図りながら活動できた。